

2CH VARIABLE DELAY (Slide Switch)
N-TM 225a

取扱説明書

初版発行	2016年 07月 27日
最新改定	2016年 07月 27日
バージョン	1. 00

株式会社 テクノランドコーポレーション

〒190-1212
東京都西多摩郡瑞穂町殿ヶ谷 902-1
電話 : 042-557-7760
FAX : 042-557-7727
E-mail : info@tcnland.co.jp
URL : <http://www.tcnland.co.jp/>

目次

1	概要	4
2	仕様	5
2.1	構成.....	5
2.2	入出力について	5
2.3	入出力コネクタ	5
2.4	遅延時間	5
2.5	使用電源	5
2.6	筐体.....	5
3	使用方法	6
3.1	モジュールの設置	6
3.2	遅延時間の設定方法.....	6
4	フロントパネルイメージ	7

1 概要

N-TM 225a 2CH Variable Delay は、0ns から 31ns まで 1ns ステップで可変できるディレイモジュールです。

ディレイタイムの選択は、1ns, 2ns, 4ns, 8ns, 16ns のスライドスイッチの組み合わせで行います。

N-TM 225a のディレイ回路は、特性インピーダンス 50Ω の同軸ケーブルで構成されています。同軸ケーブルなのでロジック信号からアナログ信号まで使用することが可能です。

2 仕様

2.1 構成

項目	内容
チャンネル数	2

2.2 入出力について

項目	内容
特性インピーダンス	50Ω
入力極性	無極性（アナログ信号、デジタル信号）
遅延回路	ケーブル長による
内部固定遅延時間	約 1nS

2.3 入出力コネクタ

項目	内容
コネクタ	レモ型（00.250タイプ）

2.4 遅延時間

項目	内容
遅延時間	1nS, 2nS, 4nS, 8nS, 16nS
スイッチ	スライドスイッチ（0nS～31nS まで 1nS ステップで可変）

2.5 使用電源

項目	内容
使用電源	なし

2.6 筐体

項目	内容
筐体	標準 NIM 規格 1 幅モジュール

3 使用方法

3.1 モジュールの設置

このモジュールは電源を使用していないので NIM BIN 電源をオフにしなくても設置することができます。また、NIM BIN フレーム (N-KB 700-1) を使用することで、19 インチラックに 12 台搭載することが可能です。

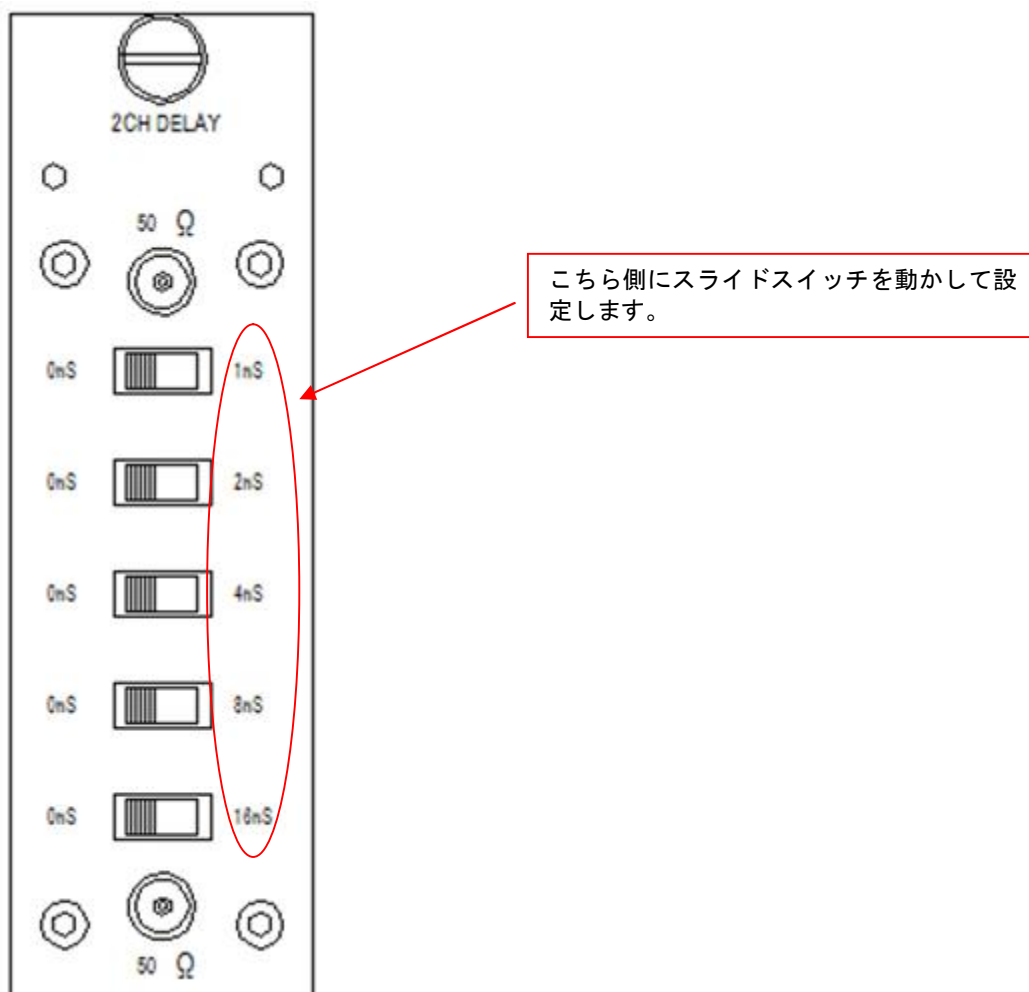
入出力はレモコネクタなので、50Ω系のレモケーブルを接続してください。

3.2 遅延時間の設定方法

このモジュールは、内部遅延時間として 0nS の時に約 1nS のオフセットがあります。ディレイを合わせる時に注意してください。

① プリセット遅延時間について<スイッチの組合せ>

必要とする遅延時間を 1nS ステップで設定できますので、必要とする遅延時間のスライドスイッチを組合せて遅延時間の設定をしてください。



4 フロントパネルイメージ

